

土石防だより



清流（富士川）

静岡県支部通常総会	2
全国治水砂防協会総会	3
土石災害防止月間活動	4
• 急傾斜地パトロールの協働実施	
• 「みんなで防ごう土石災害(土石災害防止説明会)」開催	
土石災害に対する全国統一防災訓練	6
平成19年度 砂防関係事業の代表的な完成箇所	8
インフォメーション	10
活用して下さい土石災害警戒情報	11
募集・お知らせ	12

特集

第63回全国治水砂防協会 静岡県支部総会

土石災害防止月間活動

土石災害に対する全国統一防災訓練



全国治水砂防協会静岡県支部

本県の砂防事業の重要性を訴える

静岡県支部通常総会を開催

5月29日(木)、全国治水砂防協会静岡県支部の平成20年度(第63回)通常総会を静岡市内で開催しました。

総会では、副支部長の前田袋井市長が議事に先立ち、「当県は、全国でも土砂災害危険箇所が多く、逼迫する東海地震等、地震対策としても土砂災害対策は重要な課題である」と砂防事業の重要性を訴えました。続いて、中野国土交通省砂防計画課長、花森副知事、天野県議会議長、大久保全国治水砂防協会理事長、全国治水砂防協会理事の斉藤衆議院議員より御祝辞をいただきました。

この後、議案の審議が行われ、平成19年度の事業報告・収支決算報告、平成20年度の事業計画・収支予算等が原案どおり承認されました。

総会終了後、中野砂防計画課長から「砂防行政に関する最近の話題」と題して講演をいただきました。滞りなく総会が終了できましたことを、関係各位に感謝申し上げます。



花森副知事の祝辞



斉藤衆議院議員の祝辞

〈平成20年度事業計画の概要〉

- 1 砂防事業の周知・啓発・普及
 - ①国・県の実施する事業への協力
 - ・「土砂災害防止推進の集い(全国大会)」への協力
 - ②会員による先進地視察研修の実施
 - ・砂防関係事業現地視察
 - ③砂防関係担当職員に対する研修会の開催
 - ・市町等砂防担当職員研修会の開催
 - ・土砂災害防止法講習会の開催
 - ④他機関の実施する講習会等への参加
- 2 砂防事業等促進要望の実施
- 3 「砂防だより」や砂防関係図書の発行
- 4 全国治水砂防協会等への協力



大久保理事長の祝辞



原田副支部長の挨拶(役員会)



天野県議会議長の祝辞

「砂防行政に関する最近の話題」



中野砂防計画課長の講演

砂防事業の進むべき方向

- ・国民の安全・安心の確保は国として重要視。
- ・気候変動(リスク増大)への適応策が必要
- ・土砂災害対策については予算の一層の確保を図るとともに、より効率的・効果的な投資を図り、ソフト・ハード一体となった施策の推進により「土砂災害による死者ゼロ」を目指す取り組みを推進する。
- ・避難が空振りでも、よかったと思える自律性を

全国治水砂防協会通常総会開催される

全国治水砂防協会 通常総会



綿貫会長の挨拶

総会は、綿貫会長による主催者挨拶、峰久国土交通事務次官の祝辞に続き、議事では平成19年度の事業報告・収支決算報告、平成20年度の事業計画・収支予算等が承認されました。

お忙しい中、御参加をいただきました会員の皆様には心からお礼申し上げます。

5月21日(水)、(社)全国治水砂防協会の平成20年度(第72回)通常総会が、砂防会館で開催されました。

当日は会員多数出席のもと、静岡県選出の大口善徳衆議院議員をはじめ多くの国会議員が来賓として出席されました。当支部からは会計監査役の村松森町長をはじめ18名の会員に出席いただきました。



大口保理事長の挨拶

本県の参加市町

掛川市、伊豆市、御前崎市、伊豆の国市、東伊豆町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、富士川町、由比町、森町、伊東市、長泉町、小山町、富士宮市、島田市、袋井市
(計18市町) ※太字は会員本人の出席

特集

平成20年度

土砂災害防止月間活動 6/1～30

みんなで防ごう土砂災害

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命や財産が失われています。

平成19年は、集中豪雨、台風などにより全国各地で966件、県内で64件の土砂災害が発生しましたが、幸いにして人的被害はありませんでした。

国土交通省と静岡県では、梅雨時期で雨量が多く地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすい6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害とその防止について県民の皆様の理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行いました。

主な活動

- 急傾斜地パトロールの実施
- 広報活動の推進
- 「みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)」の開催
- 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の募集及び展示
- 土砂災害防止講習会の開催 など

～住民と砂防ボランティアとの協働～

1 急傾斜地パトロールの実施

6月1日から6月16日に、県内の急傾斜地崩壊危険区域において、地域住民や砂防ボランティア、土木事務所、地域防災局、市町、警察、消防と協働で、防止施設の異状の有無、法面の崩壊、排水路の機能状況などを点検しました。

施設の破損や小規模な崩壊などの異状が確認された箇所については、早急に改善設置を講じていきます。



パトロールの様子

2 市町における広報活動の取り組み

各市町村では、広報誌、ホームページ等を活用して、土砂災害対策の重要性を広報していただくとともに、庁舎の横断幕・懸垂幕の掲示、公用車を活用した啓発広報の実施、土砂災害防止講習会の開催など、土砂災害防止広報活動に取り組んでいただきました。



広報しずおか (5月15日号)

広報誌への掲載	下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、熱海市、伊東市、沼津市、三島市、伊豆の国市、小山町、静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、岡部町、御前崎市、森町、浜松市、新居町
ホームページで広報	御前崎市
土砂災害防止講習会の開催	下田市、西伊豆町、静岡市、藤枝市、岡部町、袋井市、御前崎市、森町、磐田市、浜松市
ラジオ	浜松市、(FMハロー)
県における主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ SBSラジオ「こんにちは県庁です～知事のラジオトーク～」 ・ SBS文字放送 ・ 広報用電光掲示板 ・ バス文字情報(2社) ・ 土木事務所・市町・防災連絡員(2600人)への資料配布

3

平成20年度（第26回）土砂災害防止推進の集い（全国大会）において 県内2団体が「土砂災害防止功労者」を受賞

6月4日（水）に長野県松本市において、土砂災害防止推進の集い（全国大会）が開催されました。

静岡県内の関係者では「土砂災害防止思想の普及活動」で評価を受けた、富士宮市立富士宮第三中学校、静岡県立御殿場南高等学校が、国土交通大臣より表彰されました。なお、今回表彰を受けた団体は全国で7団体、うち2団体が静岡県から受賞されました。



富士宮市立富士宮第三中学校

富士山学習（総合学習）の中で、自然災害の恐ろしさに危機感を抱くことから学習を始め、ボランティア活動、避難経路の確認、地域の地形、食生活等を学習課題として、地域の自治会長に防災パンフレットを配布するなどの活動を行っています。

平成19年に富士宮市で開催された「環富士山火山防災シンポジウム」では、富士山噴火に備えたアンケート調査を実施、それらの結果を発表するなど、火山防災意識を高める顕著な功労がありました。



パンフレットを配布する富士宮第三中学校生徒

静岡県立御殿場南高等学校

地学の学習の中で、火山噴火の災害や性質を調査し、その特徴を知り、富士山ハザードマップについて学び、それらの結果を、宝永噴火から300年を迎えた平成19年に富士宮市で開催された「環富士山火山防災シンポジウム」において発表しました。

全国各地からのシンポジウム参加者に防災のあり方について改めて考えさせられるなど、火山砂防意識を高める顕著な功労がありました。



発表をする御殿場南高等学校生徒

4

みんなで防ごう土砂災害（土砂災害防止説明会）の開催

6月15日（日）、土砂災害の恐ろしさや、砂防事業の重要性を県民のみなさまに理解していただくため、静岡市葵区の青葉シンボルロードで「みんなで防ごう土砂災害（土砂災害防止説明会）」が開催されました。

この行事は、平成8年から「砂防フェスティバルしずおか」として開催されてきたもので、国土交通省静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡県、静岡市が共催し、今年度は土砂災害防止に関するパネル展示などが行われました。



土砂災害に対する全国統一 防災訓練を実施

6月1日(日)、全国一斉に土砂災害に対する防止訓練が実施されました。

この訓練は、梅雨前線豪雨等による土砂災害の発生に備え、災害に対する警戒避難体制の確認と防災意識の高揚を目的とするもので、全国の市町村で訓練が実施されました。

本県では25市町において、地元地域住民や行政関係者など約1,800人が訓練に参加し、土砂災害警戒情報の伝達訓練や避難勧告の発令に伴う、避難所への避難訓練などを実施しました。

また、6月1日以外にも5月25日(日)掛川市、5月30日(金)清水町、6月8日(日)森町において訓練を実施しました。なお、土砂災害警戒情報についてはP.11に「活用して下さい土砂災害警戒情報」としてわかりやすく掲載しました。

訓練参加 市 町

下田市、南伊豆町、西伊豆町、松崎町、熱海市、伊東市、沼津市、三島市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、長泉町、富士宮市、静岡市、焼津市、藤枝市、岡部町、島田市、牧之原市、袋井市、磐田市、菊川市、浜松市、新居町 (計25市町)

訓練の状況

【伊豆の国市金谷地区(避難状況)】



【裾野市峯坂・峰下地区(避難状況)】



【下田市中1区(災害対策本部設置状況)】



【伊東市宇佐美留田地区(避難状況)】



【西伊豆町宇久須月原地区(要援護者支援)】



【熱海市網代緑町地区(要援護者支援)】



【藤枝市葉梨地区(負傷者搬出訓練)】



【浜松市佐久間芋掘地区(要援護者支援)】



【三島市徳倉3丁目谷戸地区(各戸確認状況)】



【焼津市坂本・奥掛沢地区(炊き出し訓練)】



【袋井市宇刈三沢地区(土砂災害講習会)】



【静岡市南沼上地区(土砂災害講習会)】



平成19年度

砂防関係事業の代表的な完成箇所

砂防事業

かみふじわらがわ

●上藤原川砂防えん堤工（下田市相玉地先）



土石流による災害を未然に防ぐため、砂防えん堤工を実施し、人家と県道下田松崎線等の保全を図りました。

ぼらはらがわ

●茨原川砂防えん堤（沼津市戸田地先）



土石流による災害を未然に防ぐため、砂防えん堤工を実施し、人家と県道修善寺戸田線等の保全を図りました。また、植生が回復するまでの間の法面の保護として間伐材を利用しました。

さかもとがわ

●坂本川溪流保全工（静岡市葵区坂本地先）



土砂流による災害を未然に防ぐため、溪流保全工を実施し、人家と県道南アルプス公園線等の保全を図りました。

こうちさわがわ

●河内沢川砂防えん堤（浜松市天竜区龍山町瀬尻地先）



平成18年7月土砂崩れが発生したため、災害関連緊急砂防事業による砂防えん堤工を実施し、国道152号と龍山中学校等の保全を図りました。また、流木止めを副堤に設置しました。

●砂防事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
上藤原川	下田市相玉	198.7	13	砂防えん堤工 H=11.5m・L=54.0m
茨原川	沼津市戸田	329.0	15	砂防えん堤工 H=14.0m・L=54.0m
ピワ沢	藤枝市西方	269.5	13	砂防えん堤工 H=11.0m・L=30.1m
河内沢川	浜松市天竜区龍山町瀬尻	390.2	18	砂防えん堤工 H=12.0m・L=80.0m
伊東仲川	伊東市宇佐美	85.0	16	流木止工 H=5.0m・L=30.0m
本門寺沢右支川	富士宮市北袖野	62.0	16	溪流保全工 L=95.0m
中川沢	静岡市清水区吉原	68.0	16	溪流保全工 L=103.0m
籠ノ沢	静岡市葵区日向	95.0	15	溪流保全工 L=145.6m
坂本川	静岡市葵区坂本	98.0	15	溪流保全工 L=50.1m

急傾斜地崩壊対策事業

よこやま ●横山急傾斜 (静岡市葵区横山地区内)



がけ崩れによる災害を防ぐため、対策工事を実施し、人家14戸と緊急輸送路である県道梅ヶ島温泉昭和線の保全を図りました。

いくみふたまた ●伊久美二俣急傾斜 (島田市二俣地区内)



がけ崩れによる災害を防ぐため、対策工事を実施し、人家11戸の保全を図りました。

にしほんごう いっしょうめ ●西本郷一丁目急傾斜 (下田市西本郷地区内)



がけ崩れによる災害を防ぐため、対策工事を実施し、人家33戸と災害時要援護関連施設である伊豆下田病院の保全を図りました。

きんがわかいたく ●金川開拓地すべり (浜松市天竜区春野町気田地区内)



地すべり災害が発生したため、対策工事を実施し、気田地区の人家と緊急輸送路である国道362号の保全を図りました。

●急傾斜地崩壊対策事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
柿崎宮ノ背	下田市柿崎	81.0	H17	擁壁工 L=45.9m、コンクリート吹付工A=547m ²
河内片瀬	下田市河内	121.0	H15	擁壁工 L=174.2m
西本郷一丁目	下田市西本郷	206.7	H14	擁壁工 L=347.2m
大瀬高見山	賀茂郡南伊豆町大瀬	188.4	H15	擁壁工 L=211.7m
二條八反田	賀茂郡南伊豆町二条	230.0	H16	擁壁工 L=366.4m
仁科洪川	賀茂郡西伊豆町仁科	201.0	H16	擁壁工 L=239.5m
宇佐美向田	伊東市宇佐美	241.0	H15	擁壁工 L=260.3m
下船原	伊豆市下船原	364.4	H14	擁壁工 L=462.4m
小河内堂ノ前	静岡市清水区小河内	152.7	H15	擁壁工 L=150.9m
葛沢矢崎	静岡市清水区葛沢	122.0	H14	擁壁工 L=179.5m
横山	静岡市葵区横山	331.0	H14	擁壁工 L=309.3m
新聞中村	静岡市葵区新聞	55.0	H17	擁壁工 L=93.4m
桂島谷川口	志太郡岡部町桂島	188.3	H15	擁壁工 L=291.5m
伊久美二俣	島田市二俣	118.9	H17	擁壁工 L=283.3m
東光寺屋敷	島田市東光寺	242.0	H15	擁壁工 L=361.7m
家山寺山A	島田市川根町家山	43.6	H17	擁壁工 L=46.5m
久野脇三ツ間	榛原郡川根本町久野脇	138.4	H17	擁壁工 L=306.9m
柿ヶ谷	牧之原市勝間	232.0	H14	擁壁工 L=415.7m
東平尾	菊川市中内田	82.4	H17	擁壁工 L=179.2m
気田中	浜松市天竜区春野町気田	173.6	H15	擁壁工 L=396.7m

●地すべり対策事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
神尾	島田市神尾	969.0	H15	法枠工 A=5,460m ² 、横ポーリング L=2,210m
金川開拓	浜松市天竜区春野町気田	603.0	H13	集水井工 N=6基、抑止杭工 N=45本

春の森づくり県民大作戦 子供たちとグリーンベルト作業会の実施

4月27日(日)、「都市山麓グリーンベルト整備事業」のモデル地区である杉谷津沢(静岡市清水区)で地元の小学生たちを中心にたけのこ掘りが行われました。このたけのこ掘りは、放置竹林等により荒廃した里山斜面において、竹の本数管理を適正に行うことで土砂災害を抑制する「土砂災害を防ぐ里山づくり」のために必要な作業です。

このイベントは数年前から行われていて、今回も「わんぱくたかべ倶楽部」が子供たちの体験学習のために計画し、「森と水辺を育てる会」が協力する形で行われました。



たけのこ掘り

環富士山火山防災連絡会総会が開催される

5月30日(金)、富士山周辺の静岡県側9市町と山梨県側7市町村による「環富士山火山防災連絡会」総会が、富士市消防防災庁舎で開催されました。

総会では、平成19年度事業報告、平成20年度事業計画が承認されました。また、役員交代があり、富士市長が会長となりました。

さらに、総会終了後には「第2回富士山火山噴火緊急減災対策検討会」が開催され、富士砂防事務所による「富士山火山噴火緊急減災対策砂防計画」についての報告に続き、内閣府(防災担当)本橋参事官補佐より「噴火時等の避難に係る火山防災体制の指針」についての説明がありました。



総会の様子

地すべり学会中部支部総会が開催される

5月9日(金)、平成20年度(社)日本地すべり学会中部支部総会及び講演会が長野県長野市で開催されました。

総会では、支部長による主催挨拶、栗原長野県砂防課長の来賓挨拶に続き、議事では平成19年度の事業報告・収支決算報告書、平成20年度の事業計画・収支予算が承認され、役員改選において、新支部長に土屋智静岡大学教授が承認されました。

また、元信州大学工学部教授、長 尚氏により「事故・災害論と社会資本整備論」と題した特別講演が行われました。

平成20年度(社)砂防学会通常総会並びに研究発表会が開催される

5月14日(水)～16日(金)、(社)砂防学会通常総会ならびに研究発表会が北海道札幌市で開催されました。

通常総会后、水上砂防学会長より「山腹工から土砂のコントロールへー砂防における情報と対策のバランスー」と題した特別講演がありました。研究発表会では、本県砂防室の諸橋副主任が「平成19年3月25日に富士山で発生したスラッシュ雪崩」についての発生形態や富士山スカイラインの被災状況、今後の対策の課題などについて発表を行いました。現地研修会では、有珠山山西山火口・金比羅火口災害遺構や樽前山錦多2号遊砂地など火山砂防事業を現地視察しました。



諸橋副主任による研究発表



通常総会の様子

活用してください 土砂災害警戒情報

日頃の備え

- (1) 警戒避難体制の整備（特に土砂災害警戒区域）
 - (2) 防災担当・土木担当など災害対策関係部署間の連携強化、情報共有
 - (3) 防災マニュアル等の習熟
 - (4) 機器等操作の習熟、情報収集サイトのお気に入りへの登録
 - (5) 土砂災害危険箇所とメッシュの位置、自主防災会等との関わりの把握
- ※土砂災害情報マップ (<http://sabou.pref.shizuoka.jp>) で検索可能

大雨注意報の発表

- (1) 所定の防災体制へ
- (2) 降雨状況の確認（サイボスレーダー、気象庁ホームページなど）
- (3) 巡視による災害発生箇所の発見
- (4) 住民からの通報などによる災害情報の収集、役所内での情報共有
- (5) 災害情報・避難情報などを県防災局へ所定の方法により報告する
- (6) 土木事務所への第1報

大雨警報の発表

土砂災害警戒情報の受信に備える。

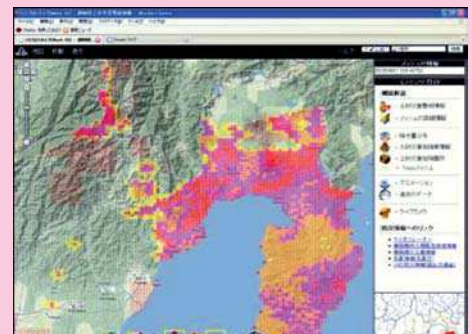
土砂災害警戒情報の発表

- (1) 土砂災害警戒情報発表を防災責任者（市町村防災会議の長など）へ連絡
- (2) 降雨状況及び土砂災害危険範囲の確認

発表：テレビ・ラジオ
発表文：気象庁ホームページ（カラー）
県防災行政無線FAX（白黒、要着信確認）
補足情報：砂防室からの電話・メール
降雨等：サイボスレーダー、気象庁ホームページ

土砂災害危険情報：

- ①気象庁：防災情報提供システム
- ②砂防室：補足情報配信サイト



- ①<http://bosai.metinfo.go.jp/bousai/login>
- ②<http://sabo-keikai.pref.shizuoka.jp/>

土砂災害警戒情報の解除

大雨警報の解除

大雨注意報の解除

警戒判定メッシュのレベル定義と対応する市町の応急対策の例

		①防災情報提供システム	②補足情報配信サイト	対応する市町の対応の例
大雨注意報レベル	予測及び実況	黄 ■		● 警戒強化（巡視開始検討等）
大雨警報レベル	予測及び実況	橙 ■		● 避難準備（要援護者避難）情報の発令に備える。
土砂災害警戒情報発表基準を超過	3時間後予測	橙 ■	黄 ■	● 土砂災害警戒情報を受信 ● 要援護者の避難準備情報の発令を検討 ● 避難勧告等の発令を検討
	2時間後予測		橙 ■	
	1時間後予測	赤 ■	赤 ■	
	実況値		紫 ■	

※危険度判定のための計算にはかなりの時間を要するので、必ずシステムの表示時刻を確認してください。

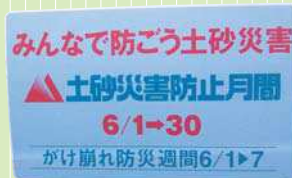
※土砂災害警戒情報の「解除」は、発表時とは別の判断基準や災害の発生状況により行いますので、システムの色分けが消えてしまっても、「解除」の発表までお待ちください。

【平成20年度】土砂災害防止啓発用品等の紹介等

当支部では、土砂災害防止啓発のため、下記の啓発用品を作成・配布しました。御活用いただきまして、ありがとうございました。



公用車に貼付されたマグネットシート



懸垂幕（菊川市）

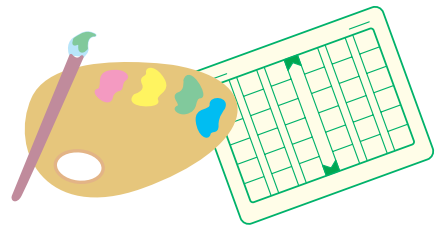
募 集 コ ー ナ ー

土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の募集

今年度も土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝えるため、絵画・ポスター・作文を募集します。募集要領については、各小中学校へ送付してありますが、下記でもご覧いただけます。

- 【募集対象】 小中学生 【応募期間】 6月1日～9月15日
- 【応募方法】 作品には応募者の学校名（ふりがな）、学年、氏名（ふりがな）、を明記して下さい。
- 【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
静岡県建設部砂防室 土砂災害対策スタッフ
TEL054-221-3042 FAX054-221-3564

詳細は、砂防室ホームページからご覧いただけます。
<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



平成20年 8-10月 砂防関係の 主な行事

- 8月 21～23日 市町長等砂防事業視察（北海道）
- 26～29日 （社）日本地すべり学会研究発表会及び現地見学会（神奈川県）
- 9月 1日 防災の日
- 中旬 （社）日本地すべり学会中部支部現地検討会（富山県）

【表紙写真】



清流〈富士川〉
渡邊安雄さん（富士市）

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編 集 ・ 後 ・ 記

今年も土砂災害防止月間の季節がやってきました。各地では土砂災害が多数発生しており、地域住民の方々に対しては、早めの避難が重要になります。宮城・岩手内陸地震では、土砂災害がどこで起こるか分からないことを思い知らされました。災害を防ぐためにも、関係機関や地域住民の皆さまのご理解とご協力をお願いしたいと思います。また、ご意見、ご感想がございましたらぜひお寄せください。

砂防室ホームページのアドレスに移転しました。お手数ですが、ブックマークの変更をお願いします。
砂防室新HP：<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>